

平成30年4月11日
国土交通省中部地方整備局
木曾川下流河川事務所

堀田を再現したエリアを全面開園します

国営木曾三川公園に、かつての堀田（ほりた）の整備について、昨年10月21日から一部暫定開園をしていましたが、この度全ての工事が完成しましたので、全面開園をします。

1. 概要

- 国営木曾三川公園では、かつて輪中地域に広がっていた「堀田（ほりた）」を再現しました。堀田農業は、低地の人々の知恵から生まれた湿地独特の農業方法でしたが、今は土地の改良がなされ姿を消しました。
- 堀田は、木曾三川下流域の輪中低湿地域で、江戸時代後期から明治時代初頭に普及拡大した耕作方法です。堀田は耕作地を増やすために耕作地の一部を切り取って堀（堀潰れ）とし、その土を隣接する田面に盛土して耕作地（堀上田）としました。
- 「堀田」は、輪中の文化と景観を伝える場として当時を知る地域の人や地域の歴史に関心の高い人たちと意見を聞きながら、整備しました。

2. 開園エリア：別紙のとおり

3. 開園式

- 日 時：平成30年4月21日（土）11時～
場 所：国営木曾三川公園 アクアワールド水郷パークセンター（風車西）
（岐阜県海津市海津町福江566）
共 催：木曾川下流河川事務所・海津市
※当日の天候などにより、中止となる場合があります。

4. 配布先：中部地方整備局記者クラブ、岐阜県政記者クラブ、三重県政記者クラブ、三重県第二県政記者クラブ、各務原市政記者クラブ、一宮日刊記者クラブ、大垣市政・経済記者クラブ、桑名市政記者クラブ、津島記者会

5. 問合せ先：〒511-0002 三重県桑名市大字福島465

国土交通省 中部地方整備局 木曾川下流河川事務所
副 所 長 船橋 準幸
河川公園課長 福澤 誠
TEL 0594-24-5711（代）
〒503-0695 岐阜県海津市海津町高須515
海津市役所 建設水道部 住宅都市計画課長 佐野 正美
TEL 0584-53-3485（代）

国営木曾三川公園「堀田」開園式案内図

車でのアクセス …… 岐阜方面から長良川右岸を南下し約40分

名古屋方面から東名阪自動車道弥富ICより約20分、又は長島ICより約15分

四日市方面から東名阪自動車道桑名東ICより約20分

名神高速を利用の場合は、大垣ICより国道258号を南下約35分

公共交通機関 …… 養老鉄道石津駅より海津市コミュニティバス「海津温泉」下車徒歩1分



アクアワールド水郷パークセンター
場 所：岐阜県海津市海津町福江556
電 話：0584-53-7200

堀田を再現したエリアの全面開園について



堀田の全景（H30年1月撮影）



堀田の状況（H29年10月撮影）

同時開催（海津マルシェ・ハンドメイド市）



海津マルシェ

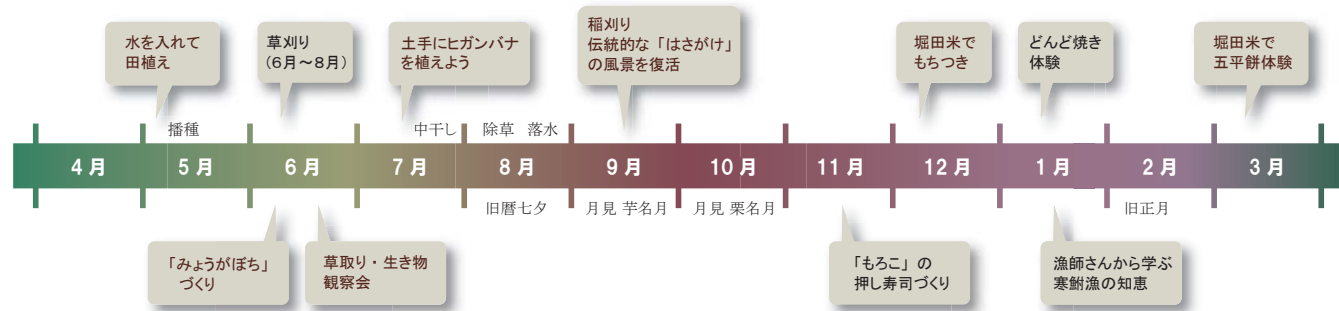


ハンドメイド市

再生堀田の活動

再生堀田の1年

再生した堀田では、昔の農作業を一年を通して再現し、堀田の風景を伝えていきます。



再生堀田の活動

再生堀田では、アクアワールド水郷パークセンターと公園ボランティア「水郷倶楽部」やパークパートナーの方々と協働しながら、田植や稲刈り等の体験イベントを行います。

堀田での体験イベントのご参加などについては、アクアワールド水郷パークセンター管理所までお問い合わせください。

【田植・稲刈り体験】



▲田植え



▲稲刈り

【田舟乗船体験】



▲田舟乗り (協力: 海津市レクリエーション協会)

お問合せ

● 国営木曾三川公園
アクアワールド水郷パークセンター
〒503-0628 岐阜県海津市海津町福江 566
TEL.0584-53-7200 FAX.0584-54-5022
<http://www.kisosansenkoen.jp/>

● 国土交通省 木曾川下流河川事務所
〒511-0002 三重県桑名市大字福島 465
TEL.0594-24-5719 FAX.0594-24-5726



ほりた 堀田の再生

—かつての水郷景観の再生—



「田舟で田植に向かう」 撮影: 河合 孝さん

堀田の歴史

堀田は、木曾三川下流域の輪中低湿地域で、江戸時代後期から明治時代初頭に普及拡大した耕作方法です。堀田は耕作地をふやすために、耕作地の一部を切り取って堀（堀潰れ）とし、その土を隣接する田面に盛土して耕作地（堀上田）としました。

堀田は、その形態から「河間吹型」「孤立型」「田舟型」に大別することができますが、湿田の多い下流部輪中では、堀潰れの割合が多く水路と直結した「田舟型」の堀田が多く分布していました。堀田は、土地改良事業により姿を消していきました。



- 1 空中写真
1949年(昭和24年)撮影
- 2 土地改良事業前斜め写真
1968年(昭和43年)撮影
撮影:河合 孝さん
- 3 土地改良事業後斜め写真

堀田の再生

再生堀田の整備経緯

再生堀田は、大江緑道整備の一環として、当時を知る地域の人や地域の歴史に関心の高い方々により、平成23年度からワークショップや地域づくりネットワーク会議で約40回話し合いが行われ、地域の文化と風景を伝える場として整備しました。



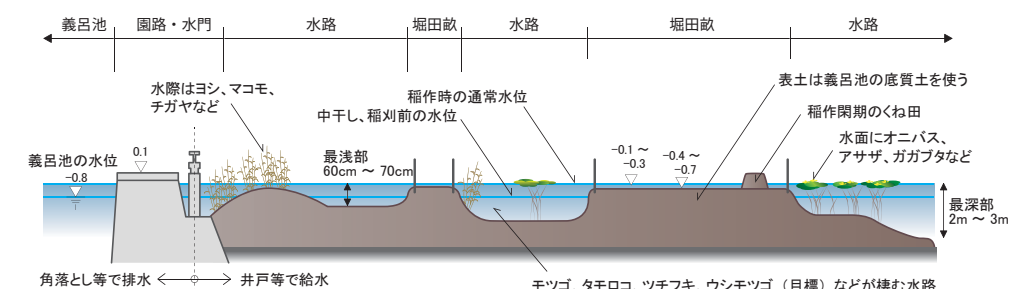
▲ワークショップ(平成24年9月2日)



▲地域づくりネットワーク会議(平成26年2月26日)

再生堀田の整備内容

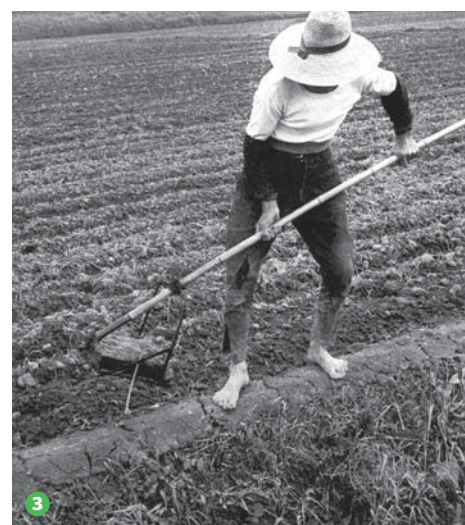
再生堀田は、かつての堀田の形態を再現したものです。堀潰れの水路を中心に周りに堀上田を再現して、親水ゾーン、見学路などの施設を整備しました。水路は、浅い部分で水深60~70cm、深い部分で水深2~3mあり(田面以上に水を貯めた場合)、田舟を使った耕作ができる深さになっています。



再生堀田の断面図

堀田の農業

堀田の農業では、耕作のために田舟と呼ばれる小型の木造舟が使われていました。田舟は、農作業の往来や農具・肥料・収穫物の運搬に欠かせない交通手段となっていました。また、耕作を続けるために、毎年田植え前に堀の土を堀上田の縁に置土する「めんつけ」、裏作のために堀上田の上に高うねをつくる「くね田づくり」などの重労働作業が行われていました。



- 1 「田植」撮影日不明、海津町
出典:「海津町史民俗編」
昭和47年7月20日発行
- 2 「堀田と田舟」昭和43年10月22日、海津町外浜
撮影:河合 孝さん
- 3 「めんつけ」撮影日、撮影場所不明
撮影:河合 孝さん



再生堀田の空中写真